

2020年度 香川大学教育学部編入学

論 述 試 験 問 題

学校教育教員養成課程（小学校教育コース 特別支援教育領域）

1. 監督員の「始め」という指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
2. 「始め」の指示と同時に、解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず書くこと。
3. 監督員の「やめ」の指示で直ちに筆記用具を置き、解答を終了すること。
4. 解答は1問毎に別様の解答用紙に記載すること。
5. 解答用紙には受験番号、解答以外のことを書き込まないこと。
6. 用事があるときは、黙って手を挙げて、監督員の指示を受けること。
ただし、問題の内容についての質問には応じない。
7. 問題用紙、解答用紙、下書用紙は試験終了後に提出すること。

小学校教育コース特別支援教育領域

問題 以下の文章は障害者雇用に関するニュースです。障害者の社会参加や就労について、あなたはどのように考えますか？あなたの考えを述べなさい。

新採用の障害者離職相次ぐ 職場定着に向け対策へ 人事院

2019年9月1日 NHKニュース

中央省庁による雇用の水増し問題を受けて、新たに採用された障害者が職場環境が合わないなどの理由で離職するケースが相次いでいることから、人事院は、職場に定着している事例などを各省庁に紹介するといった対策に取り組むことになりました。

中央省庁による障害者雇用の水増し問題を受けて、政府は年内に4000人余りの障害者を新たに採用する計画を進めていて、今月、2回目となる全省庁統一の1次試験を実施する予定です。

今回の試験は、およそ250人の定員に対し、4500人余りの障害者から申し込みがあり、前回到続いて高い人気となっています。

一方で、各省庁で採用した障害者が、職場環境が合わないなどの理由で短期間で離職するケースが相次いでいることから、人事院は対策に取り組むことになりました。

具体的には、障害者が職場に定着している事例を取りまとめ、各省庁に紹介し、職場環境の整備の参考にするよう呼びかけるとともに、各省庁が行う2次面接の段階で、希望をしっかり聞き取るよう求めることにしています。

人事院はこうした対策で障害者の短期間での離職を防ぎたいとしています。